

# 小郡市同和問題市民講演会

福岡県では、昭和44年7月に同和問題を解決するための初めての法律である「同和对策事業特別措置法」が施行されたことにちなんで、昭和56年度から7月を同和問題啓発強調月間に定め、各種啓発行事を中心とした様々な取組みを展開してきました。

「部落差別はなくなったのではないですか」という声を聞くことがあります。これまでの特別対策事業の実施により、生活環境などで一定の成果が上がっています。しかし、いまだに土地調査差別や結婚差別など、部落差別は根深く残っています。

小郡市では、下記のとおり市民講演会を開催します。多数のご参加をお待ちしています。

【日時】 7月7日(土)／午後2時～(受付 午後1時30分)

【会場】 市文化会館 大ホール

【テーマ】 「あなたに光を！」

※要約筆記、手話通訳および託児あり。  
託児は、3日前までに申込みが必要。

## ◆講師

清原 隆宣さん  
奈良県 西光寺副住職

## ◆内容

「あなたに光を！」

～間違った“ものさし”が差別を生んでいる～

中学校教諭を退職し、現在は西光寺の副住職。中学校教諭の時、自分の娘が通う中学校で差別事件が起こり、娘を巻き込んだつらい経験を持つ。このような自らの体験を通して人権の大切さを語る。

一人ひとりが豊かにつながり、光り輝く存在として尊重される社会をめざす「水平社宣言」の精神を受け継ぎ、世間の間違ったものさしを正し、人間は平等であるという水平のものさしを広めたいと全国で講演を行っている。1952年奈良県生まれ。



入場は無料です。  
市民の皆さんの参加を  
お待ちしております。

●問合せ先 人権・同和教育課  
72-2111内線532

## 福岡県の 同和問題啓発 強調月間 講演会



●日時 7月21日(土)／午後0時30分～午後4時40分  
●会場 クローバープラザ大ホール(春日市)  
●問合せ先 県人権啓発情報センター 092-584-1271

第1部 語りと実演「炭坑節」 午後1時～1時40分  
第2部 講演 午後1時45分～3時15分  
「炭坑と人々～山本作兵衛さんの描いた世界～」  
講師 安蘇龍生さん  
(田川市石炭・歴史博物館館長)  
第3部 映画上映 午後3時30分～4時40分  
「炭鉱に生きる」

市では、平成19年に策定した「小郡市人権教育・啓発基本計画」にうたわれている7つの分野(同和問題・男女共同参画社会・子ども・高齢者・障害者・外国人・様々な差別)にわたり、7月の同和問題市民講演会のほかにも、さまざまな啓発を行っています。いくつかご紹介します。

## 七夕人権考座

様々な人権課題をテーマにして、年間7～8回の講座を開催しています。平成23年度は、次のようなテーマで実施しました。各講座、30～70人の参加がありました。

- **同和問題** 「差別意識を生み出す日ごろの心」  
「身近な人権問題を考える」  
「唄と語りの人権コンサート」
  - **男女共同参画社会** 「デートDVは暴力です」  
～愛する子どもたちのために知っておきたいこと～
  - **子ども** 「いじめ問題について考える」  
～インターネットから見えるもの～  
「出会い・つながり・スポーツ育」
  - **高齢者・障害者問題** 「こころのバリアフリー」
  - **まちづくり** 「心の窓を少し拓いて」
- 今年度も実施します。随時ご案内しますので、ぜひ、ご参加ください。



## 第32回市同研定期総会

～差別の現実から深く学び、豊かな出会いとつながりを通して  
一人ひとりが大切にされる人権文化を創造していこう～

5月19日、「小郡市人権・同和教育研究協議会(小郡市同研)」の第32回定期総会が、600人余りの参加者のもと開催されました。

「市同研設立当時も現在も『差別を許さない』という私たちの根底にあるものは変わらない。基本方針を熟読して活動につなげていきたい。」と参加者の感想にも書かれたように、参加者全員で気持ちを新たにすることができました。

また、総会の後には記念講演会が行われました。今年は、松村智広さん(みえ人権教育・啓発研究会)に「へこたれへん～人はきつとつながれる～」と題して講演していただきました。参加者からは「楽しい話術で引き込まれましたが、内容は、根深い差別の現実と差別への怒りと差別としっかり闘ってこられたことがわかるものでした。今まで取り組んできた同和教育は間違っていないと実感しました。」という声が聞かれました。



小郡市同研では「就学前部会」「学校教育部会」「社会教育部会」「行政部会」の4つの部会で、各々の役割、課題を踏まえ、同和教育を基軸とした人権・同和教育を進めていきます。

